

## 週報

# 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 28年												平成 29年														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~2日	4月 ~9日	4月 ~16日	4月 ~23日	4月 ~30日	5月 ~7日	5月 ~14日	5月 ~21日	5月 ~28日	6月 ~4日	6月 ~11日	6月 ~18日
カンピロバクター	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	66	84	61	68	80	18	25	34	31	14	9	30	19	25	24	33 (34)	28
病原性大腸菌	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	180	147	107	105	89	13	28	11	21	12	6	7	37	14	27	52 (60)	21
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
サルモネラ	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	1	7	2	3	3	1	2	2	2	3	3	4	1 (2)	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	8	15	6	11	12	2	2	4	5	2	2	5	1	1	8	0	9
黄色ブドウ球菌 MRSA	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	14	20	16	19	13	3	4	1	3	6	5	4	3	3	5	3	11
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	2	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	2	1	0
ロタウイルス	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	2	1	1	2	0	1	3	2	1	0	2
アデノウイルス	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
ノロウイルス	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	21	7	4	8	1	3	2	0	0	0	2	7	2	4	2	1

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 広島県感染症発生動向週報

平成29年第24週(6月12日~6月18日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8					6	1	1
三類	0	発生なし	0							
四類	2	日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	1			1				
五類全数	6	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2			1		1		
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1					1		
		梅毒	3					1		2

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第24週 6/12～6/18)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

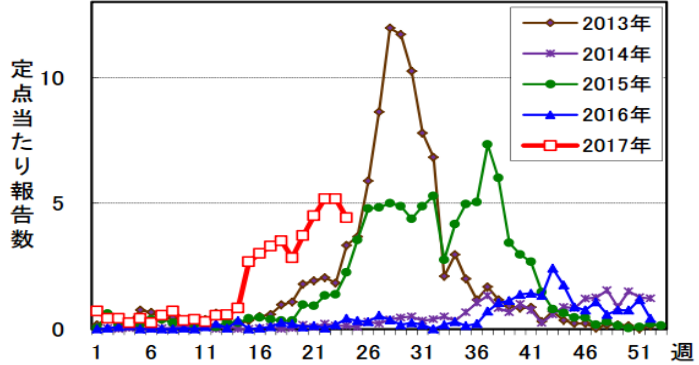
1. 手足口病

定点当たり4.42人と、前週と比べてやや減少しましたが、依然多い状況が続いています。

手足口病は、乳幼児を中心に主に夏に流行がみられるウイルス性の疾患です。

なお、広島市衛生研究所による遺伝子検査では、今年は手足口病患者から、コクサッキーウイルスA6型が8人、エンテロウイルス71型が1人検出されています。また、全国的にもコクサッキーウイルスA6型が多く検出されています。

手足口病の流行状況



2. 梅毒

1件の報告があり、今年の累計は25件となりました。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
フィレン	インフルエンザ	2	0.05	0.03		小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.74	
小児科	咽頭結膜熱	23	0.96	1.03	→	眼科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.08	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	90	3.75	2.68	→	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	156	6.50	6.53	→	眼科	流行性角結膜炎	6	0.75	0.97	
	水痘	19	0.79	1.26	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	106	4.42	1.23	→	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	4	0.17	0.26	→	基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.48	
	突発性発しん	6	0.25	0.58	→	基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.03	→	基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	8	0.33	1.07	→						

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇔ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	6	68	男性(20歳代)・1人、女性(30歳代)・1人、女性(40歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、男性(80歳代)・1人
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	5	女性(70歳代)
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	男性(80歳代)
5	梅毒	1	25	女性(20歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	嘔吐 腹痛	1	男	2017/05/10	糞便	アデノウイルス5型
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢	1	男	2017/05/10	糞便	ノロウイルスG2
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 咽頭炎 気管支炎 リンパ節腫脹	1	女	2017/05/01	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	細気管支炎	6	不詳	2017/05/02	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.5) 咽頭炎	0	女	2017/05/02	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 丘疹 咽頭炎 結膜炎 リンパ節腫脹 熱性痙攣	2	女	2017/05/03	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.8) 咽頭炎	0	男	2017/05/04	糞便	アデノウイルス2型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.3) 気管支炎	5	男	2017/05/04	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 細気管支炎	1	男	2017/05/07	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	咽頭炎 気管支炎	26	女	2017/05/10	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載